

催事報告

選書サポーター会議（全5回）

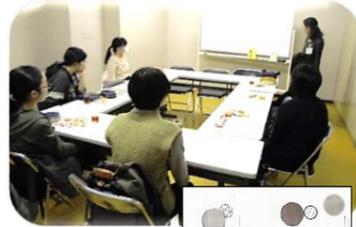
期 間 平成30年8月～平成30年12月 ※期間中毎月1回

参加人数 中高生10人

中学生・高校生を対象にメンバーを募集し、メンバーと同年代の人たちへのおすすめの図書を選んでいただきました。現在、それらをまとめたブックリストを作成しています。完成したブックリストは図書館に配置するほか、近隣の中学校・高等学校へ配布します。また同世代向けの本にPOPをつける作業などといったYAコーナー作りにも取組んでもらいました。

毎回和気あいあいとした雰囲気の中楽しみながら参加してくれたようで、選書サポーター会議が、他校の学生や先輩、後輩とも交流を持つきっかけになってくれたら嬉しいです。

※YA（ヤングアダルト）=主に13歳から19歳までの世代



まちあるき 歴史散歩

日 時 平成30年11月20日（火）

参加人数 20人

会 場 榴岡図書館と仙台駅東口周辺

コース：パルシティ仙台→孝勝寺→成覚寺山門→林香院→政岡墓所→榴岡公園→仙台市榴岡市民センター

東口ガイドボランティアの「宮城野さんぼみち」さまと協同して企画しました。平成30年は伊達綱村公三百回忌にあたるため、綱村公や伊達家にゆかりのある地を歩きながら講話をしていただきました。身近なところに歴史ゆかりの地があることを知ることができてよかったなど、大変好評のまちあるきとなりました。



大人向け製本講座

日 時 平成31年2月9日（土）

参加人数 19人

会 場 仙台市生涯学習支援センター 創作室I

講師をお招きし、製本の基礎や折り本の歴史について学ぶとともに、実際に集印帳を作成しました。毎年恒例となっており、今年も即日募集終了となる人気振りでした。この製本講座で、だいじな本を自分で修理するための基礎知識を有していただくとともに、本に愛着を持って大切にご利用いただければ幸いです。



発行：仙台市榴岡図書館

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡 4-1-8 パルシティ仙台 4F ☎295-0880

榴岡図書館だより

第 14 号

平成31年3月1日

My Favorite Book



このコーナーでは、榴岡図書館スタッフの「Favorite(お気に入り)」な作品や作家を紹介します。

「ランランらくご (5) あたま山」



自分の頭にできた池に飛び込んで入水自殺を図る……。……。頭に、池が？そこに……。飛び込む？どこから？

落語のマクラであるあたまやま（サクランボ）という噺では、あまりにもけちんぼうのためにサクランボの種まで出さずに飲み込んだ主人公の、頭の上から生えてきた桜で花見をし、木を引っこ抜いた跡の池で舟遊びをするといったようなシーンが次々とでてきます。冒頭で紹介したシーンのように、自分の頭の上に足から飛び込むなどは、絵面を想像することすら難しいような出来事です。しかし落語の世界では、不条理で理不尽な世界で起こる摩訶不思議な事柄を、まるで当然の事として聴衆に強いてくるのです。たとえば自分の目を犬の目と交換したらそれは犬とおなじようにモノが見えるだろう、たとえば落ちた自分の頭を提灯のように手に提げて走ったらそれは視点も下がるだろう、とたとえ前提が荒唐無稽でもそこから繰り広げられる世界は理論的に展開されるように考えられているのです。

落語や昔話の不条理さ（≒ファンタジー）に対抗するには、現代のファンタジーの世界で課される写実的な想像力とは別の力が必要となります。それは1つの世界を想像し、構築するための論理力であったり順応力であったり様々ですが、そこに対して明確な説明のないまま進んでいく世界に翻弄されるのもまた、とても愉しく快いのです。

八代目の林家正蔵が一席噺とした、すこしばかりブラックな考えオチだったこの噺ですが、『ランランらくご』では斉藤洋が地口オチに変えて落としています。しかしこちらもまた上手いと思わせるオチになっておりますので、（そして文字も大きくて読みやすいので）ぜひこの不条理な世界に、舟を漕ぎ出してみたいかたがどうか。



「ランランらくご (5) あたま山」

斉藤 洋文/高島 純 絵
2008年 あかね書房

仙台市榴岡図書館 伊深 朋子

<関連資料> 「落語名人大全」榎本滋民/編 三田純市/編 講談社 1995.1

「さくらんぼ」今江祥智/文 宇野亜喜良/絵 フィリシモ 2010.5



みなさまのご要望にお応えし、図書館の本の貸出し冊数が7冊から10冊に増えました。また、太白区に新しくできました「中田サービススポット」は予約や受取り、返却、登録にも便利です。こちらとあわせて、ぜひご活用ください。

※詳細はカウンター職員までお問い合わせください。